



令和3年度 清水小学校だより

令和4年3月8日発行

清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子

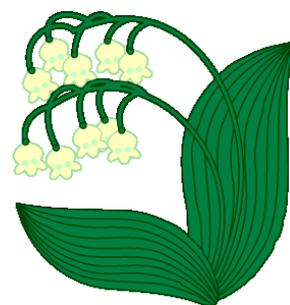
洋蘭栽培の話から

3月も第2週に入りました。もう残りも1か月ないんですね。

ところで世の中は、まだまだ新型コロナウイルスに悩まされています。一刻も早く終息することを願うばかりです。また引き続き、防止対策もしっかりしていかなくてはならないと考えています。皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

話は変わりますが、以前、洋蘭栽培をされている方のお話をお聞きする機会がありました。

蘭は個性的な花で、強い光線が好きな蘭と弱い光線を好む蘭、水分をいっぱい欲しがると、そうでない蘭、温かいところが好きな蘭と涼しいところが好きな蘭というように、好む環境もそれぞれ。そんな蘭を育てるのには、何よりも一鉢一鉢への気配りが重要なポイントだそうです。



冬の間の長い室内栽培を終えて、6月中旬に戸外に出すのですが、いきなり日光にあててしまうと火傷をしてしまうそうです。そのため、寒冷紗というネットをかけて、そのネットを黒色→灰色→白色と替え、太陽光線のあたる量を調節してやるのだそうです。まるで人間の世界でいえば、赤ちゃんの日光浴をする時と同じように、毎日少しずつお日様にあてる面積を増やしていくのと同じです。

また、よい花をつけさせるためには、集団で育てたり、「葉っぱが美しくなったね。」「もうつぼみがついたのね。」とその頑張りを認めたりすることが大切だと聞き、驚きました。

蘭は、普通2～3年経つと花をつけるのですが、中には6年経っても一度も花をつけないものもあるそうです。そういう時には、光と風のあたり方を変えてやり、株に刺激を与え、花が咲くまで気長に待つ。そして、やっと花をつけた時、たくさんの美しい言葉で褒め称えると不思議なことに翌年にはもっとたくさんの花をつけるそうです。

こうしてみると洋蘭栽培は、子育てとよく似ているように思われます。その子その子の特性を見極め、その子にとって今必要なことは何かを知り与えて、やる気が生まれるのを待つ。

そんな親心と通じるところがあるのではないのでしょうか。また、よい花を咲かせるには、少々厳しい目にあわせる必要があるとおっしゃるのです。蘭の種類により条件は異なりますが、寒さに一か月ほどあてたり、最低気温が10℃になるまで屋外に置いたりして、株にとって少々きつい思いをさせると、素晴らしい花が咲くそうです。

子育ても洋蘭栽培もその根底にあるものは「愛」、その一語に尽きるそうです。

柔と剛、優と厳・・・など愛にはいろいろな形がありますが、その子にとって、その時に応じて、どの愛がふさわしいか見極めながらたっぷりと「ビタミン愛」を注いでいくことが大切ではないのでしょうか。

子どもたちは間もなく卒業や進級を迎えます。新しいステージへ向けて自信と希望をもって進んでいけるよう、一人一人の子どもたちにたくさん「ビタミン愛」を注いでいきたいと思っています。

[裏面もあります。ご覧ください。]



三心六行 挨拶から始めよう



人間は、人と人とのつながりの中で生きています。様々な人とかかわって生きていく上で大切な心が3つあります。それが「三心」です。「三心」とは、「①ありがとう、②すみません、③どうぞ」の3つのことです。この心をいつも忘れないようにすれば、けんかも起こりませんし、みんなが楽しく暮らせると思います。

そして、朝起きてから、夜寝るまでに、最低でも次の6つの言葉を言って、行動するようにしましょう。それが「六行」です。「六行」とは、「①おはようございます、②行きます、③ただいま帰りました、④いただきます、⑤ごちそうさま、⑥おやすみなさい」の6つの行動（言葉）です。相手に自分の心を伝えるためには、言葉や行動で示さなければなりません。黙ってはいけません。自分の行動や気持ちを言葉に出すことが大切です。

坂東眞理子さんの「親の品格」の冒頭にも「挨拶から始めよう」とあります。

「おはようございます」「おはよう」この言葉を一日のはじめにやり取りすると心が明るくなります。できるだけ明るく大きな声で家族に「おはようございます」と言いましょう。親から子へ、子から親へ、どちらが先でもかまいません。声をかけられたら、必ず「おはようございます」と返しましょう。……挨拶とは、自分以外の存在を認めているというメッセージ、仲よくしたいという意思の表明です。

（「親の品格」坂東眞理子 PHP 新書より）

今までよりも、少し大きな声であいさつをすると気持ちがいいと思いますよ。

「三心」 ①ありがとう ②すみません ③どうぞ

「六行」 ①おはようございます ②行きます ③ただいま帰りました

④いただきます ⑤ごちそうさま ⑥おやすみなさい



うれしいですね、がんばっている子どもたち

— 子どもたちの校外での活躍 —

※ 敬称略

「長崎県ミニバスケットボール選手権市予選大会」 3位

清水小男子ミニバスケットボール部

「佐世保市小学生バレーボール送別大会」 混合の部 優勝

「佐世保市小学生バレーボールプレ新人大会」 男子の部 準優勝

「県北地区小学生バレーボールU-10大会」 準優勝

以上 大塔クラブ ○本 ○夢(3年2組)

